

秋田県立横手高等学校（全日制課程） 中期ビジョン（5か年計画）
【令和8年度～令和12年度】



I 本校が目指す姿

① スクール・ミッション

「剛健質朴」の校風のもと、「青雲の志」を抱き、「天佑自助」の精神で困難を切り拓き、社会の幸福と発展に寄与するグローバルリーダーを育成する学校

② スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

★高度な思考力・判断力・表現力

習得した知識・技能を統合し、正解のない課題に対して多角的な視点から最適解を導き出し、自らの考えを論理的に発信できる生徒

★自己実現に向けた高い志

高い自己肯定感と不屈のチャレンジ精神をもち、自らの可能性を信じて、主体的に困難を乗り越え、目標を達成する生徒

★社会貢献と公共の精神

地域や社会の持続可能な発展を担う創り手としての責任感をもち、他者から信頼される行動がとれる生徒

★豊かな人間性と国際性

他者への共感と深い慈しみをもち、多様な文化や価値観を尊重し、国際社会を牽引できる生徒

カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

★「主体的・対話的で深い学び」の創造と知の深化

- ・アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた質の高い授業を展開し、単なる知識の習得を超えた、社会で活用できる「生きて働く知識・技能」を定着させる。
- ・問いを立て、他者と協働する解決プロセスを通じ、論理的思考力、客観的判断力、及び豊かな表現力を多角的に高める。

★探究活動（SSH）を核とした科学的素養と挑戦心の育成

- ・SSH指定校としての強みを最大限に活かし、「課題発見・解決型」の探究学習を教育課程の中核に据える。
- ・自ら仮説を立て、研究・検証を繰り返す探究サイクル（PDCA）を推進し、未知の困難に立ち向かうチャレンジ精神と、自らの可能性を切り拓く高い志を育む。

★コーチングを基盤とした個別最適なキャリア教育

- ・生徒一人一人の個性に寄り添うコーチングマインドを全教育活動の基盤とし、対話を重視した個別指導を展開する。
- ・自己肯定感と自己有用感を育みながら、将来のビジョンを具体化し、それぞれの自己実現（進路目標の達成）に向けた体系的なキャリア支援を行う。

★地域・社会との連携による市民意識の醸成

- ・社会貢献活動や地域連携プロジェクトを教育課程に組み込み、実社会を舞台とした「学校外での学び」を促進する。
- ・地域社会の一員としての自覚をもち、「公共の利益を尊ぶ心」を養い、未来の社会の創り手として信頼される人材を育成する。

★特別活動を通じた人間形成とレジリエンスの向上

- ・部活動や学校行事等の特別活動を、知・徳・体の調和を図る重要な場と位置付け、他者と切磋琢磨する経験を通じて、豊かな人間性を育む。

★グローバル交流を通じたリーダーシップの養成

- ・留学生との交流や海外研修等の多角的なプログラムを通じ、実戦的な英語運用能力と高度な情報活用力を養成する。
- ・多様な価値観を尊重し、異文化を柔軟に受容する「開かれた心」を育み、国際社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

★知の探究心

諸学問に関心をもち、その基盤となる確かな学力を自ら高めようとする旺盛な意欲をもつ生徒

★共創の精神

困難な課題に対しても主体的に向き合い、多様な価値観をもつ他者対話・協働しながら、最適解を導き出そうとする生徒

★自己の鍛錬

部活動や諸活動に情熱をもって取り組み、自己管理能力を磨きながら、心身ともにたくましく成長しようとする生徒

Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた5年間の取組

現状と課題

明治31年(1898年)の創立以来、県内はもとより国内外を問わず、様々な分野で社会に貢献する人材を輩出しており、毎年60%前後の生徒が国公立大学に進学している。

その一方で、少子高齢化の影響により社会的刺激が乏しい地域にあり、生徒が社会の一員としての自覚や主体性を育みにくい環境にある。そのため、自ら課題を解決しようとする意欲が低く、狭い視野で進路を選択しがちな点が課題である。また、社会との接点不足から学習目的が大学入試に限定され、自己実現や地域リーダーとして社会貢献する意識が十分に育っていない。

県南地区の中学卒業生が今後10年で半減するとの予測を受け、県立高校の統合・再編計画により横手市内の3校は2校へ集約される。本校の志願者数は横ばいであり、今後のさらなる生徒数減少により、かつてのような高倍率は望めない状況にある。こうした時こそ本校の魅力を発信し、県南随一の進学校として地域や保護者の期待に応える必要がある。

このような中、平成30年度の指定に続き、令和6年度にはSSH第Ⅱ期の指定を受けた。現在は全校体制で「国際社会で活躍するグローバルサイエンスリーダー」の育成を目指し、科学的思考力や判断力を高めるための指導方法の研究開発を推進している。

具体的な取組

